



夏の特集号

2021.7.20 川妻認定こども園おひさま



高温多湿の8月は、あせもができたり、睡眠不足、食欲不振になったり、低年齢の子どもにとっては過ごしにくい季節です。一人ひとりの健康面に十分留意しながら夏を元気に乗り切らせていきたいと思えます。

【絵本・物語にたくさんふれさせてあげましょう！】

どうしてもテレビを見る時間がながくなりがちな夏休みだと思えますが、この機会にたくさんの絵本、物語にふれさせてあげてください。

午前中の涼しい時間を利用して、近くの児童館、図書室へ散歩がてら出かけてみるのもよいと思えます。

気に入った本に出会うと、何度読んでもうれしいもので、その1回1回が理解の深さにつながっていきます。何度でも読んであげてください。また、時にはママの言葉による素話をしてあげれば子どもたちの感動はどれだけ大きいものになるかもしれません。その題材は、すでにお子さんの知っている物でも構いません。読んで聞かせるのではなく、ママの気持ちを込めてママの言葉で、目で、口で話してあげてください。途中で分からなくならないよう、こっそり下調べをしておけば自信を持って話してあげられます。ガンバレ ママ！！

絵本紹介

シャルロットのおしゃぶり

文/ファニー・ジョリー

絵/フレッド・ペナグリア 訳/徳山 素子

シャルロットはおしゃぶりが大好き。いつでも何をする時でもちゅぱ！ちゅぱ！だから「わらひのなまへはシャルホッホ！なんてことに。家族は、おしゃぶりをやめさせる方法をあれこれ試みるもどれも失敗！そこで最後にとった作戦は？

シックな色合い、軽妙なおしゃべりな絵が自由奔放なシャルロットにマッチして、なんとも味わい深く、そして愉快的な絵本です。

いっぽんばし こちょこちょ

作/とよたかずひこ

イヌさんとネコさんが一本橋の上でこっつんこ。羊さんとブタさん、カエルさんと金魚さん…と次々こっつんこ。そのたびに川に落ちてしまいます。さてその後は～？

赤ちゃんが喜びます♡

みんなよ～く考えてみてね☺
答えは、園だよりにて！



なぜなぜ

- ①ずっとニンニクをたべている人は何歳？
- ②うしろに下がる程つよいものってなに？
- ③生きていくと増えていくものはなに？
- ④逆立ちすると野菜になる海辺にあるものはなに？
- ⑤赤い帽子をかぶると背が低くなっていくのはなに？
- ⑥こわがちな虫はなに虫？
- ⑦窓が閉まってもガラスを割らないで入ってくるものはなに？
- ⑧夏になるとみんながよく食べるイスはなに？
- ⑨ポットに毛をいれたらなにになる？



黄桃ゼリー

【材料】1個70gとして 10個分

- ・黄桃缶 1缶(身300g)
- ・☆粉ゼラチン 10g
- ・☆水 50cc
- ・レモン汁 10cc
- ・スキムミルク 60g+水300cc
- ・砂糖 50g
- ・コアントロー 15cc

【作り方】

- ① ☆の材料を混ぜておく。
- ② 黄桃をミキサーにかけます。
- ③ 水溶きのスキムミルクに砂糖と②を混ぜます。
- ④ ③にゼラチンを溶かし加え、コアントロー、レモン汁も入れます。
- ⑤ 型に流し、冷やし固めたら完成です。

1個分の栄養価
 エネルギー67 kcal
 たんぱく質 2.9g
 脂質 0.0g
 カルシウム 70 mg



カレーライスのおた

にんじん たまねぎ じゃがいも
 ぶたにく おなべて いためて
 ぐつぐつ にましよう
 トマト カレールー とけたら
 あじみて おしおをいれたら
 はい できあがり どうぞ！
 いただきます♡



生活の決まりは具体的に！

- 食事の後は、必ず歯を磨く。
 - 脱いだ物は、洗濯カゴに入れる。
 - 新聞受けから、新聞を取ってくる。
- といったような子どもにもはっきりとした自己目標化できるような具体的な約束や決まりを考え、規則正しい生活をしていきたいものです。それには、大人が一方向的に与えるものではなく、親子で話し合い、子ども自身が納得するものでなければなりません。

<自分で考えて遊ぶことの大切さ>

子どもだれでも自分で考えて行動することは楽しい！ 試行錯誤することが面白いという経験が少ないので、人から与えられることを待つようになるかもしれません。自分から意欲を持って物事に取り組むからこそたくさんの学びがあるはずですし、従うだけでは生きる力が身に付くとはないでしょう。

もう一つは、保護者の遊びに対する理解です。保護者が幼児期の遊びの大切さを理解し、一緒になって面白がることは子どもの成長にも影響していくはず。そうであれば、幼児期に「自分で考えて遊ぶ」と感じた保護者は、子どもが大きくなってからもその主体性を大切にしてくれると思うのです。大切なのは「今」です。温かい見守りをして自分で考えて遊べる子づくりをみんなでしていきましょう。

・・熱中症とは・・

熱中症とは、体温を平熱に保つために汗をかき、体内の水分や塩分(ナトリウムなど)の減少や血液の流れが滞るなどして、体から熱を逃がすことができなくなり、体温が上昇して重要な臓器が高温にさらされたりすることにより発症する障害の総称です。高温環境下で長期間活動した時、あるいは活動後の体調不良はすべて熱中症の可能性がります。子どもは大人に比べて体重あたりの水分量が多く、体の水分量のアンバランスが生じ脱水になりやすい特徴があります。さらに乳幼児は汗腺をはじめとした体温調節能力がまだ十分に発達していないために熱中症のリスクが高くなります。

症状・対処方法を参考にしてください。

分類(重症度)	症状	対処方法
I度(軽症)	<ul style="list-style-type: none"> ・手足がしびれる。 ・めまい、立ち眩みがある。 ・筋肉のこむら返りがある。(痛い) ・気分が悪い、ボーっとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・涼しい所で一休み。 ・衣服を脱がし、体を冷やす。 ・水分か塩分を補給する。 ・誰かが付いて見守り、症状が改善しない場合は病院へ受診。
II度(中等症)	<ul style="list-style-type: none"> ・頭がガンガンする。(頭痛) ・吐き気がする。吐く。 ・体がだるい。(倦怠感) ・意識が何となくおかしい。 	病院へ搬送
III度(重症)	<ul style="list-style-type: none"> ・意識がない。 ・体がひきつる。(痙攣) ・呼びかけに対し、返事がおかしい。 ・まっすぐ歩けない、走れない。 	病院へ搬送